

君も干潟はかせだ!

〜ワークブックふくしゅうクイズ〜



①干潟^{しお}って潮が引いたときにあらわれるどんなところ?

① 草地 ② 岩場 ③ 砂や泥のたまったところ →💡 ヒント 1,2 ページ

②泥水がきれいになったビーカーはどれ?

① シジミあり ② シジミなし ③ りょうほう →💡 ヒント 3,4 ページ

③カワウ先生にはいつ会える?

① 夏だけ ② 一年中 ③ 春と秋 →💡 ヒント 5,6 ページ

④旅鳥たちは、北に行ってなにをする?

① ベンキョウ ② スキー ③ 子育て →💡 ヒント 7,8 ページ

⑤鳥たちにとって干潟は?

① ゆうえんち ② レストラン ③ 学校 →💡 ヒント 9,10 ページ

⑥ハマシギの大好物は?

① ゴカイ ② トリ ③ サカナ →💡 ヒント 9,10 ページ

⑦かすおじいちゃんのむかしの仕事は?

① 農家^{のうか} ② 漁師^{りょうし} ③ サッカー選手^{せんしゅ} →💡 ヒント 11,12 ページ

⑧藤前干潟がラムサール条約^{じょうやく}に登録された日は?

① 2005年3月27日 ② 2008年2月2日 ③ 2002年11月18日

→💡 ヒント 13,14 ページ

わかるかな?
わからなかったら
ヒントをみてね



友だちやおうちの人といっしょに
また来てね〜



(発行) 平成21年 月 日
中部地方環境事務所
(住所) 名古屋市中区錦3-4-6
(TEL) 052-955-2130
(Web) <http://chubu.env.go.jp>
(制作・編集) NPO法人藤前干潟を守る会
(写真提供) 犬飼一夫
(アドバイザー) 酒井立子

ふじ まえ ひ がた
藤前干潟
ワークブック



しんご



みさき



まさや



カワウ先生

ひ がた 干潟ってどんなところ？



わあ～ひろ～い！



みんなは干潟を見たことがあるかな？

ぼくが行ったときは見えなかったよ。
ばしょ
場所を、まちがえたのかなあ。



ガタレンジャーの
おねえさん

干潟は潮がひいた時にだけあらわれる砂や泥が
たまった場所なのよ。だからいつ行っても見られる
わけではないの。鳥やカニとか、いろんな生きものが
たくさんいて楽しいのよ。

干潟を見に行くときは新聞などで潮がひく時間
かんちよう
(干潮時間) をよく調べてから来てね。



潮が満ちると・・・



へえ～こんなに
変わるんだ～！



ガタレンジャーって なあに？

藤前干潟では干潟の
ガイドさんを“ガタレンジャー”
とよんでいます。干潟のことを
良く知っているから、いろんな
ことを教えてくれるよ。
干潟に入るときはガタレンジャー
といっしょにはいるのが
オススメ。くわしくはセンターの
スタッフにきいてね！

干潟は水をきれいにするよ



干潟の泥やそこに住んでいる小さな生きものたちが、水をきれいにしているのよ。
 おもしろい実験があるから見てみよう！
 シジミを使った浄化実験よ。
 左がにごった水だけをいれたビーカー、
 右がにごった水とシジミをいっしょにいれたビーカーよ。
 時間がたった2つのビーカーの水がどうなるか観察してみよう！

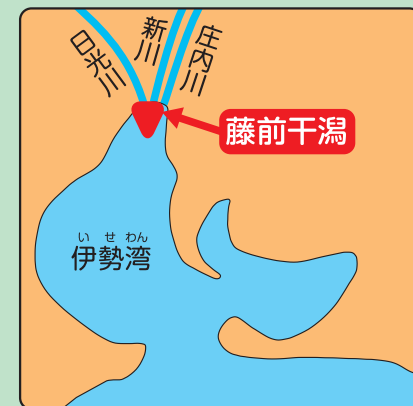
知ってる!?

藤前干潟って
どこにあるの？



藤前干潟は、しょうないがわ 庄内川・しんかわ 新川・にっこうがわ 日光川の3つの川が海に流れ込むところにあります。

藤前干潟は川と海がであうところです。

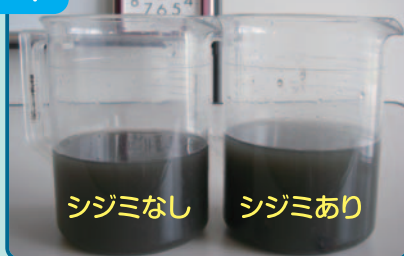


シジミの浄化実験

どうなるのかな～。
どっちもまっくろで
なにもみえないよ～。



実験スタート



シジミが入っているほうの
水はすきとおってきたよ！



15分後



あっシジミが入っているほうの
水はとうめいになったわ！



25分後



しじみん♪

おいらはヤマトシジミ。
みそしるの中にいれるとおいし～よ。
泥っぽいところが好き。
海の水と川の水がまじった
うす～い塩水のところにすんでるぜ！



なんでシジミがはいっている方の水はすきとおったの？

シジミは有機物を食べているの。にごった水のなかには
汚れのもとになる有機物がいっぱいふくまれているのよ。
ゴカイ・アナジャコ・カニもシジミのように
有機物を食べて水をきれいにしてくれているのよ。



そうか！だから干潟は大切な場所なのね！

干潟にやってくる鳥たち



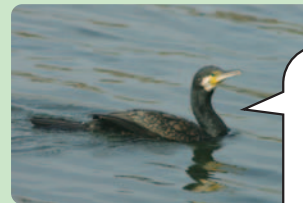
わあ～！干潟に鳥がいっぱいいるよ！

そう！干潟には四季を通じていろんな鳥がやって来るんだ！
どんな鳥がやって来るかしょうかいしていくね！



留鳥（りゅうちょう）

1年中干潟のまわりで見られる鳥



カワウ

わたしたちみたいに干潟のまわりに1年中いる鳥たちだよ。
ちなみに、この写真こそ、わたくしカワウ先生の本当のすがたです！



ミサゴ



アオサギ

旅鳥（たびどり）

おもに春と秋に見られる鳥たち



オオソリハシシギ



キアシシギ



春と秋はシギのなかまが多いな～。
長いきりを旅してるとちゅうなんだって。



ダイシャクシギ



アオアシシギ

冬鳥（ふゆどり）

おもに冬に見られる鳥



ハマシギ



スズガモ



シロチドリ

夏鳥（なつどり）

おもに夏に見られる鳥



コアシサシ



干潟のまわりの海で小魚をとってるな～。
子そだてのためのエサなんだって！

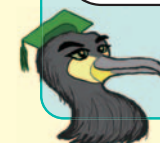
鳥とり シルエットクイズ！

干潟や海にこんな形の鳥いないかしら？
見つけたら、○をつけてみて！



ユリカモメ

冬はカモのなかまがたくさん来るからけっこうにぎやかなんだ！



旅鳥はどこから来るの？



旅鳥のシギやチドリたちは、
とても長いきよりの^{わた}渡りをするの。
そのとちゅうで藤前干潟によるのよ。



渡りをするハマシギ (イメージ)

繁殖地 (はんしよくち)
夏は北で子育て。

中継地 (ちゅうけいち)
春と秋は、とちゅうの干潟で
一休みしてエサを食べる。

**日本
藤前干潟**

越冬地 (えっとうち)
冬はあたたかい南ですぐす。

アラスカ

ロシア

中国

韓国

パプア
ニューギニア

インドネシア

オーストラリア

ニュージーランド

藤前干潟に春と秋に来る“旅鳥”たちは、毎年
ものすごく長いきよりの渡りをしてるんだって！
わたしも聞いておどろいたよ！

どのぐらいのきよりのなの？

長いものだとなんと片道1万キロ！
地球1周の約4分の1のきよりだね！

へ～！すごいや！歩いたら
どのぐらいかかるんだろ！？

だから、とちゅうで休んでエサを
食べるためにも、干潟が大事なのね！

感じてみよう！

稲永ビジターセンターに
ある鳥のぬいぐるみを
持ってみよう！
渡りの前と、とちゅうでは、
こんなに重さが変わるんだよ。



トウネンのぬいぐるみ

干潟は鳥たちのレストラン



鳥たちは、干潟のいろいろな生きものをエサにしているのよ。
それぞれの鳥が何をエサにしているか、
どうやってとっているか、よ〜く^{かんさつ}観察して○の
中に書いてみてね。
ヒントは下の4つの生きものよ!



わたしはダイシャクシギ。
このなが〜いクチバシで、
穴の中の○もイチコロよ!



あたしはハマシギ。^{だいこうぶつ}大好物は
○ ○ ○ と
○ ○ ○ ○
あたしたちって、いつも、
いそがしそうって言われるわ。



ゴカイ

ぼくらの食べものは、砂や泥の中のえいようだよ。
鳥たちはぼくらをエサにしてるんだ。



カニ



サカナ



ヨコエビ

ぼくはミサゴ。
○ ○ ○ しか食べないよ。
じまんのツメで今日もゲットだぜ!



わたしのエサも
ミサゴとおなじだよ。
でもとりかたが
ちがうな〜



ぼくはダイゼン。
○ ○ ○ が大好き!
ぼくはすごく目がいいんだ。
エサをすぐ見つけるよ!



干潟は鳥たちのレストランなんだね!



だから干潟には鳥たちが集まってくるのね!

ねえ、みんな、答えが書けたら正解はセンターの
スタッフに聞いてみようよ!



なごやの海は豊かな漁場だった

わあ～、ずいぶん古そうな写真！かすおじいちゃん、これいつごろの写真なの？



かすおじいちゃん

そうじゃな～。今から50年ほど前の写真じゃな。
全部、なごやのまわりの海でやっていた漁の写真じゃよ。
下の写真は、貝をとっているところだな。
干潟のようなあさい海では、ジガキかごで貝をとったり、
カキの養殖もやっていたな。



ジガキかご



カキの養殖



打瀬船

網で漁をしている人



お魚もとって
いたんだね！

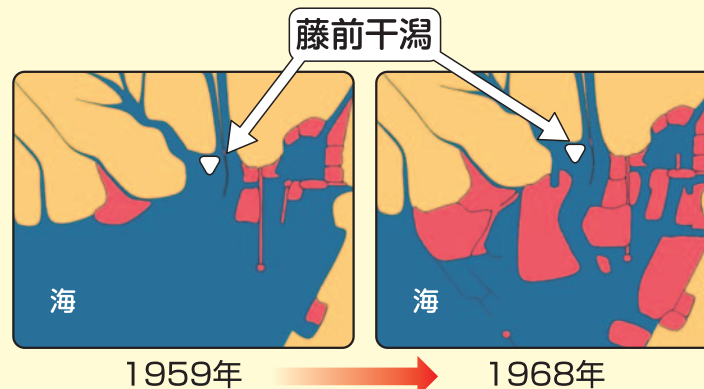


そうじゃよ。
伊勢湾の沖には、打瀬船
で魚やカニ、エビなんか
とりにいったな。
浅いところでは小船で魚を
とりにもいったなあ。

おじいちゃんも、むかしは漁師さんだったの？



そうじゃよ。でも海がよごれてきたり、うめ立てが進んだり
してなあ、魚がとれんようになってきたんじゃ。
今から40年ぐらい前には、なごやから漁師は1人も
おらんようになってしまったなあ。



藤前干潟

1959年

1968年

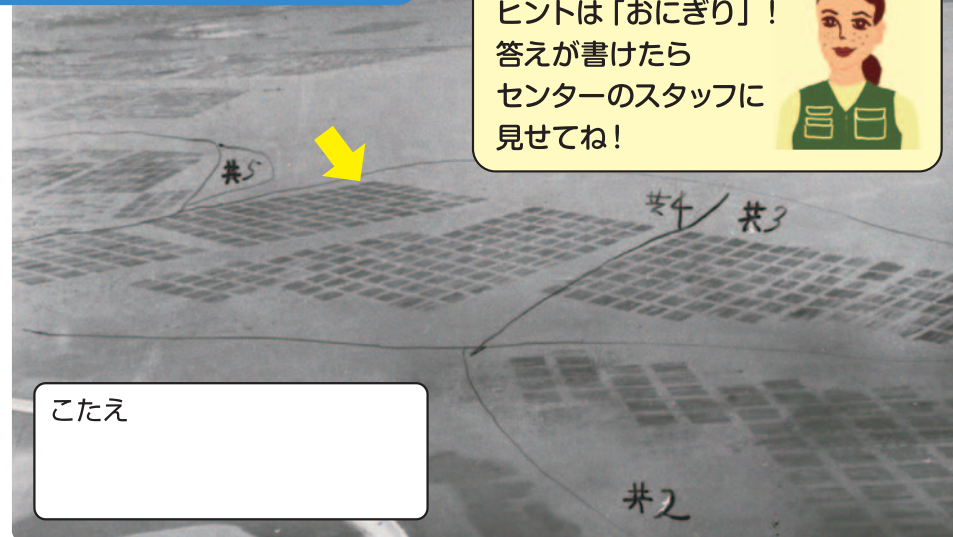
たった10年で、
こんなに海がせまくな
ったのね。



でも藤前干潟の
ところはのこってるよ。

クイズ この黒いのはなに？

これも養殖の1つよ。
ヒントは「おにぎり」！
答えが書けたら
センターのスタッフに
見せてね！



こたえ

50年ぐらい前のなごやの海

～ゴミうめ立てから守られた藤前干潟～



1981年



もうどこにも
すてる
ばしょ
場所がない・・・



そうだ!
藤前干潟に
すてよう!
いいアイデアだ。



市民のみなさんは
本当にがんばりました

そして!!

1999年



わかりました。
もう干潟は
うめません。

2002年

鳥を守る保護区になりました。
11月18日には
「ラムサール条約」に登録
世界的に大切な湿地として、
みとめられました。



ありがとう!



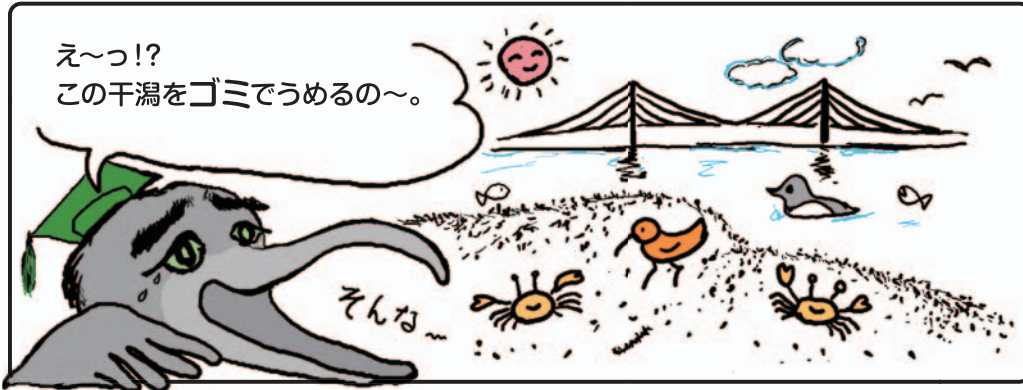
でもね、
ゴミそのものがなくなった
わけではないのよ。



がんばって、続けていこうね。

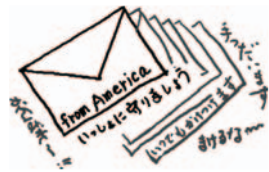
ゴミをへらすために、
何ができるか書いてみよう。

※特に水鳥にとって、世界的に大切な湿地を守るための条約です。1971年にイランのラムサールという街で行われた会議で採択されたため、そう呼ばれています。



大切な干潟を
ゴミでうめないで!

名古屋市民だけ
ではありません。
日本全国から、
そして外国からも
応援があったの
です。



市民が
立ち
上がった!



ゴミを
へらそう!